

てんかん発作の症状は 脳の働きと関係している

脳は大きく4つの部分(前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉)に分けることができ、さらにそれは左右に1つずつ存在し、その部位ごとに役割分担があります。例えば、前頭葉には意思決定、行動や運動の司令を出す回路などが、側頭葉には言語の理解、記憶、聴覚の処理に関わる回路などが組み込まれています。そして、頭頂葉にはあらゆる体の感覚の、後頭葉には視覚の情報が処理される回路などがあります。どこの回路でてんかん発作が生じるかによって特有の症状が出ます。例えば、前頭葉の運動の回路に発作が起きればけいれんなどの運動症状が、後頭葉の視覚の回路に発作を起されば見え方に異常をきたします。認知や記憶の回路に異常が起きれば、発作の間のことを自覚できなかったり、記憶してなかったりすることもあるでしょう。

